

青森県

# 秋季高校野球

準々決勝

秋季東北地区高校野球青森県大会第5日は15日、八戸長根と弘前はるか夢の2球場で準々決勝4試合を行った。八学光星は久保諒之輔の3試合連続本塁打もあり、4-2で弘前東に勝利。工大一は青森山田に、八戸は弘前工にそれぞれ敗れた。4強の顔ぶれは八学光星、弘前工、弘学聖愛、青森山田に決まった。第6日は21日、八戸長根で準決勝2試合を行う。（取材班）

## 光星、弘前工、聖愛、青森山田 4強



【準々決勝・八学光星-弘前東】5回八学光星2死一塁、久保諒之輔は右越えに本塁打を放ち、4-2とする=八戸長根

# 光星久保3戦連続アーチ

なつてからは調子が上がらなかつた。その時、春のセンバツをスタンドから見つめていたことを思い起こした。「もう一回仕切り直そう」。気持ちを切り替えて今大会に臨んだ。

まさに会心の一撃だった。八学光星は5回に久保諒之輔が右越えの本塁打を放ち、勝利をつかんだ。3試合連続、高校通算1本目となるアーチに、久保は「新チームでは、自分が中心になって引張っていくという気持ちで打席に入った結果」と胸を張った。

今夏は2年生で唯一スタメン入りし、初戦で2打席連続本塁打を放つ実力を示した。ただ、「夏は先輩たちがいたら打っていたけど」。新チームに



【準々決勝・八学光星-弘前東】6回をノーヒットに抑えて豊八学光星の柴田煌輝（左）

### 柴田好救援 6回無安打

○：八学光星に頼れる左腕が新たに生まれた。コントロールを武器に凡打を誘った。6回に内野の2連続失四死球7三振で零封。周の皆が声を掛けてくれたので、落ち着いて投げた。投手が「投手がたので、落ちて投げた」と、青森県大会「事」と三振に切って取った。監督から「向こうの監督から「向こうの監督から」強いと評される柴田。乱れを見て、仲井宗基監督は「チームを勝たせる投手を早くにスイッチ。柴田はチェンジアップで丁度いい」と、強信を深めていた。